



News Release

2020年5月28日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

屋内で起こる高齢者の転倒・転落事故を防ぐ ～安全な製品選びのポイントと運動時の注意点～

1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度の10年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、高齢者が被害者となった屋内の事故は、北海道で合計34件^{※2}ありました。そのうち、死亡事故は12件、重傷事故は10件、軽傷事故は12件発生しています。その中で、転倒・転落事故は5件発生しています。事故発生原因別で見ると、製品に起因しない事故の割合が多くなっています。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2010～2019年度）

発生年度	合計
2010年度	6
2011年度	4
2012年度	5
2013年度	2
2014年度	2
2015年度	6
2016年度	3
2017年度	2
2018年度	1
2019年度	3
合 計	34

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 被害状況別事故発生件数 (2010~2019 年度) ※3

被害状況		合計
人的被害	死亡	12
	重傷	10
	軽傷	12
物的被害	拡大被害	0
	製品破損	0
被害なし		0
合 計		34

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) 手すり（浴室用）

○2010 年 12 月（北海道、80 歳代・男性、使用期間約 5 か月、重傷）

事故内容：使用者が入浴中、異音がしたため家人が確認すると、使用者が倒れており、負傷していた。現場に、浴槽から当該製品が外れて床に落ちていた。

事故原因：当該製品には、異常が認められないことから、浴槽への固定が緩んでいたため、浴槽から外れ、転倒に至ったものと考えられる。

(2) 肘掛（トイレ用）

○2012 年 9 月（北海道、80 歳代・男性、使用期間約 3 年、重傷）

事故内容：使用者が当該製品の可動肘掛と便器側面の間に右肘を挟まれた状態で発見され、負傷が確認された。

事故原因：当該製品の肘掛を便器奥にはね上げた状態で肘掛と便器の間に隙間が生じていたため、足がしびれ立っていらなくなった使用者が倒れた際、当該隙間に右腕が挟まって身動きが取れなくなり、事故に至ったものと考えられる。

3. 転倒・転落事故を防ぐポイント

- ①こまめに体を動かし、筋力やバランス能力の維持を心がける。
- ②身の回りの整理整頓を行う等周囲の環境を整える。
- ③運動器具は、取扱説明書の記載内容を確認し、体力や健康状態にあった製品を選ぶ。
- ④自分の体力や健康状態を過信せず、無理な運動を控える。また、運動中に異常を感じたらすぐに使用をやめる。
- ⑤転倒防止のために適切な手すりを選び設置する。(手すりにがたつきやねじのゆるみなどの設置や取付け状態に問題がないか確認し、異常があった場合は、施工事業者などに連絡し修理をする。)

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、下川

電話: 011-709-2324